

## 岩手県津波防災技術専門委員会 規約

(名称)

第1条 本会は、「岩手県津波防災技術専門委員会」(以下「委員会」という。)と称する。

(目的)

第2条 委員会は、東日本大震災津波からの復興に向けた「復興ビジョン」及び「復興計画」を策定するにあたり、被害状況等の調査結果や技術的根拠等専門的な知見に基づき、地域の歴史や文化、産業等の地域特性を考慮し、津波対策の方向性、津波対策施設の整備目標、防災型の都市・地域づくりについて検討、提言を行い、まちづくりに資することを目的とする。

(所掌事務)

第3条 委員会は次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 津波対策、防災型の都市・地域づくりの現状と課題の分析に関すること。
- (2) 津波対策の方向性、津波対策施設の整備目標、防災型の都市・地域づくりに係る提言に関すること。
- (3) その他津波対策、防災型の都市・地域づくりの推進にあたって必要な事項に関すること。

(組織)

第4条 委員会は、別表の委員で構成するものとし、委員は知事が委嘱する。

2 委員の任期は、第2条に掲げる目的の達成をもって終えるものとする。

(委員長)

第5条 委員会に委員長を置く。

- 2 委員長は、委員の互選によって定める。
- 3 委員長は、会務を総務し、懇談会の議長となる。
- 4 委員長に事故ある時は、委員長の指名するものが、その任務を代行する。

(オブザーバー)

第6条 委員会にオブザーバーを置くことができる。

- 2 オブザーバーは、知事が委嘱し、その任期は委員の任期の例による。
- 3 オブザーバーは、必要に応じて会議に出席し、意見を述べるができる。

(会議)

第7条 委員会は、知事が招集する。

- 2 委員会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。
- 3 委員長が必要と認める場合は、委員以外の出席を求めることができる。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、県土整備部において処理する。

(規約の改正)

第9条 この規約を改正する必要があると認められるときは、委員会で協議する。

(補則)

第10条 この規約に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会で協議する。

附 則

この規約は、平成23年4月15日から施行する。

別表 岩手県津波防災技術専門委員会 委員名簿

(敬称略・五十音順)

| 氏 名                | 摘 要                                       |
|--------------------|---|
| いまむら ふみひこ<br>今村 文彦 | 東北大学大学院 教授                                |
| さかい しげき<br>堺 茂樹    | 岩手大学 工学部長                                 |
| しゅとう のぶお<br>首藤 伸夫  | 東北大学 名誉教授                                 |
| ないとう ひろし<br>内藤 廣   | 建築家・前東京大学教授                               |
| ほとう えいじ<br>羽藤 英二   | 東京大学大学院 准教授                               |
| ひらやま けんいち<br>平山 健一 | 独立行政法人 科学技術振興機構<br>JST イノベーションサテライトいわて 館長 |
| みなみ まさあき<br>南 正昭   | 岩手大学工学部 教授                                |
| やまもと ひでかず<br>山本 英和 | 岩手大学工学部 准教授                               |